

荷主との連携や事業の共同化等による生産性向上方策に関する  
ガイドライン策定ワーキンググループ  
第3回 検討会 議事要旨

I. 日時 2016年12月21日(水) 10:00-12:00

II. 場所 国土交通省 中央合同庁舎2号館 1階 共用会議室3B (東京都千代田区)

III. 配布資料

- ① 第3回 荷主との連携や事業の共同化等による生産性向上方策に関するガイドライン策定ワーキンググループ 議事次第
- ② 荷主との連携や事業の共同化等による生産性向上方策に関するガイドライン策定ワーキンググループ 委員名簿
- ③ 第3回 荷主との連携や事業の共同化等による生産性向上方策に関するガイドライン策定ワーキンググループ 配席図
- ④ 荷主との連携や事業の共同化等による生産性向上方策に関するガイドライン策定ワーキンググループ 第2回 検討会 議事要旨
- ⑤ 荷主との連携や事業の共同化等による生産性向上方策に関するガイドライン策定ワーキンググループ 第3回 検討会 議事録
- ⑥ 荷主との連携や事業の共同化等による生産性向上方策に関するガイドライン策定ワーキンググループ 第2回 検討会の振り返りと主な変更点
- ⑦ トラック事業の生産性向上方策に関する手引き(仮称) 手引き部分骨子 (資料1)
- ⑧ 調査対象の事例(案) (資料2)

III. 出席者

座長	増井 忠幸	東京都市大学 名誉教授
委員	金城 佐和子	パナソニック株式会社 物流企画部 企画室 管理総括担当 主幹
	古賀 秀之	国分グループ本社株式会社 経営企画部 課長
	坪井 康彦	イオングローバルSCM株式会社 事業本部 運営管理部 部長
	樋口 恵一	川崎陸送株式会社 代表取締役社長
	藤倉 泰徳	株式会社藤倉運輸 代表取締役社長
	松崎 宏則	公益社団法人全日本トラック協会 常務理事
	加藤 進	国土交通省 自動車局 貨物課 課長
オブザーバー		
	森本 正司	国土交通省 自動車局 安全政策課 事故防止対策推進官
	大庭 靖貴	国土交通省 総合政策局 物流政策課 企画室 課長補佐
	吉濱 暁	国土交通省 総合政策局 物流政策課 企画室 物流高度化・連携企画推進官
事務局		
	森川 健	株式会社野村総合研究所 社会システムコンサルティング部 産業インフラグループ 上級コンサルタント
	神山 裕之	株式会社野村総合研究所 社会システムコンサルティング部 上級コンサルタント
	北條 英	公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILS 総合研究所 ロジスティクス環境推進センター センター長
	濱崎 晃	公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILS 総合研究所 准主任研究員

以上15名 敬省略・順不同

V. 議事の経過

1. 開会

開会にあたり、増井座長が開会の挨拶を述べたうえで、配布資料の確認が行われた。事務局より、配布資料④、⑤に基づき、第2回検討会の議論の確認が行われた。これらを踏まえて、下記のとおり、議事を進行した。

## 2. 議 事

### 1) 「トラック事業の生産性向上方策に関する手引き」(仮称)について

事務局より、配布資料⑥、⑦、⑧に基づき、「トラック事業の生産性向上方策に関する手引き」(仮称)の骨子案等が説明された。質疑応答と意見交換が行われた後、下記の事項が確認された。

#### (1) 「手引き」の前半部分の骨子について

- ・骨子案において、「商習慣」の項目を追加して、検討すること。
- ・附帯作業を構成する要素作業を洗い出したうえで、分析すること。

#### (2) 「手引き」の後半部分における事例について

- ・荷主企業、並びに、トラック事業者のどちらか片方に偏らないような書き方を工夫すること。
- ・「即効性が期待できる事例」の一例として、手待ち時間の削減等に係る事例や、「将来期待できる事例」の一例として、輸送の共同化等に係る事例というように、「手引き」の利用者が場面に応じて使い分けができるような事例の分類を行うこと。
- ・「即効性が期待できる事例」は、配布資料⑦の5頁で紹介すること。
- ・一般的な内容についても、配布資料⑦の5頁において、紹介すること。
- ・事例のタイトルが分かりにくいいため、配布資料⑦の5頁の内容と整合性を図ること。
- ・「取組の背景」は「取り組んだ動機」とし、できるだけ簡略化するとよい。
- ・各事例の「スキーム」の項目において、“before” ⇔ “after” がわかるようにすればよい。
- ・各事例の「スキーム」の項目において、“before” ⇔ “after” の形で図式化したうえで、“after” の効果として、項目化して列挙するとよい。
- ・各事例の「スキーム」の項目において、トラックドライバーの帰り道はどうなっているのかという点も図示しておくか、言葉で説明すること。
- ・「主な課題と対策」において、課題を先に述べて、その対策という流れで、それぞれ分ける必要があること。
- ・配布資料⑧の該当箇所において、適切な表現方法を用いること。

### 2) 今後のスケジュール

#### ・第4回検討会の開催概要について

日時：2017年1月20日(金) 14:00-16:00

場所：国土交通省内にて調整中

#### ・第4回検討会に向けて

事務局は上記の議論を踏まえたうえで、第4回検討会までに事例のヒアリング調査を完了し、「手引き」の前半・後半の草案を完成させること。

第4回検討会では、「手引き」の前半・後半の草案を報告すること。

#### ・第4回検討会以降の予定について

事務局は、第4回検討会で議論された内容をもとに、「手引き」の最終案を取りまとめること。

事務局が取りまとめた「手引き」の最終案について、2017年1月中に、座長及び委員に確認をいただき、同月中に内容を確定させること。

2017年2月14日(火)以降の各都市でのセミナー開催に向けて、必要に応じて、各委員に日時・場所等の広報資料を、できるだけ早く提供すること。

## 3. 閉 会

全ての議事を終了し、増井座長が閉会を宣した。

以 上